

Made in Germany 

**VOXATIV**  
PURE LISTENING.

T-211  
T-211 OT

Tube Integrated Amplifier





“T-211”はメインの出力管には本機のモデル名にもなっている大型三極管「211」を、増幅管には「6SN7」と「6SL7」を使用したステレオ・インテグレートッド・アンプです。

かつて回路技術が発達しておらず、電子部品の品質も満足いくものが少なかった時代に性能の良い増幅器を製造するには真空管の性能に頼るしかありませんでした。三極管自身の性能を高め、極限まで追及した真空管が「211」です。

三極管が発明された 1906 年から 100 年以上経つ今なお傑作として名高い「211」を使用したインテグレートッド・アンプから奏でられるサウンドは、まさに三極管シングルアンプの究極と言っても過言ではないでしょう。

音質を大きく左右する出力トランスは 2 種類から選択が可能で、日本製ハイグレード・トランスを採用したモデルが“T-211 OT”です。サウンド・クオリティの重要な要素となるトランスが高精度かつ高精細になることで、“T-211”の性能が極限まで発揮されます。

入力系統 3 系統、プリアンプ出力 1 系統(アンバランス・RCA)を備え、スピーカー出力は 8Ωと 16Ω両対応となっており、様々な機器との組み合わせが可能。

入力切替スイッチ、ボリュームコントロールにはアルミブロック削り出しφ110mm の超大型コントロール・ノブを使用し、滑らかな操作と細やかなコントロールはもちろんのこと、操作する際のダイナミックさと満足感他は他の追随を許さない造りとなっています。

キャビネットは 63 キログラムに及ぶアルミブロックを削り出した 1 ピースのアルミハウジングに、腐食や摩耗に強く外観も美しいアルマイト処理を施しブラックマットに仕上げられています。

**Voxativ** 2008 年ドイツ・ベルリンに設立された Voxativ 社は、同社の開発したバックロードホーン型スピーカー・システム「Ampeggio Signature」が米国 Stereophile 誌の最高賞である「PRODUCTS of the year 2011」に選ばれたことで一気にその知名度を上げました。開発者であり同社の創始者であるアドラー氏は、バックロードホーン型スピーカー・システムに最適な真空管アンプの開発にかねてより情熱を注いでおり、多くの試行錯誤の末完成したのがこの“T-211”と、出力トランスに日本製ハイグレード・トランスを用いた“T-211 OT”です。

## Specifications

形式	真空管ステレオ・インテグレートッド・アンプ
回路形式	211 A 級シングル回路
入力	アンバランス(RCA) 3 系統
出力	スピーカー出力(8Ωまたは 16Ω) 1 系統 プリアンプ アンバランス(RCA) 1 系統
真空管	出力管 : 211×2 増幅管 : 6SN7×2、6SL7×2
周波数応答	20~20,000Hz(-1dB)
S/N 比	100dB
歪率	1%
入力感度	520mV
出力	14W/ch
消費電力	200W
寸法/重量	W430×D470×H250mm/45kg



Voxativ 製品輸入販売元

# Ark Gioia

株式会社アーク・ジョイア

112-0013 東京都文京区音羽1-1-7 正進社ホールディングスビル4階  
Tel 03-6902-0480 Fax 03-6902-0944 www.arkgioia.com

※記載内容は 2016 年 6 月現在のものです。製品の仕様、外観等は予告なく変更される場合があります。ご了承ください。